

令和元年 7月 12日

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

## 我が国周辺水域の水産資源に関する資源評価会議の開催について

国立研究開発法人水産研究・教育機構は、水産庁事業「水産資源調査・評価推進委託事業」の一環として、我が国周辺水域の主要魚種の資源評価について検討する資源評価会議を、7月下旬から順次、各地で開催します。

本会議は一部を除き公開で開催し一般傍聴を受け付けております。傍聴を希望される場合は、下記の URL のサイトで詳細をご確認の上、お申込みください。なお、カメラ撮影は会議冒頭の挨拶のみ可能です。

URL [http://www.fra.affrc.go.jp/shigen\\_hyoka/2019/index.html](http://www.fra.affrc.go.jp/shigen_hyoka/2019/index.html)

本件照会先：

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

研究推進部 研究開発コーディネーター

研究推進部 研究主幹

経営企画部 広報課

山下 紀生 TEL：045-227-2680

森永 健司 TEL：045-227-2675

濱田 桂一 TEL：045-227-2622

## 1. 概要

国立研究開発法人水産研究・教育機構を代表とする共同実施機関（※1）は、水産庁の水産資源調査・評価推進委託事業を受託し、我が国周辺水域における主要な水産資源の資源評価を実施しております。資源評価対象魚種は、漁獲可能量（TAC、Total Allowable Catch）制度の対象魚種であるマイワシ、マサバ、ゴマサバ、マアジ、スケトウダラ、スルメイカ、ズワイガニをはじめ、カタクチイワシ、トラフグ、ヒラメなどを含む主要水産資源です。

資源評価会議では、各評価対象資源について、水産研究・教育機構から資源調査の結果、資源評価の方法、生物学的許容漁獲量（ABC、Allowable Biological Catch）、管理方策の提言等について説明し、共同実施機関、有識者等の関係者間で資源評価（案）の妥当性等について検討します。

※1 共同実施機関：国立研究開発法人 水産研究・教育機構、都道府県水産試験研究機関、一般社団法人 漁業情報サービスセンター、公益財団法人 海洋生物環境研究所

## 2. 各会議の開催日程、開催地

会議記号	開催日	会議名	開催地
A	7月30日 傍聴 あり	マイワシ・マアジ水産資源評価会議	横浜市
B	7月31日 傍聴 あり	中央ブロック資源評価会議（カタクチイワシ太平洋系群、ウルメイワシ太平洋系群など）	横浜市
C	8月5,6日 傍聴 あり	西海ブロック資源評価会議（カタクチイワシ対馬暖流系群、ウルメイワシ対馬暖流系群など）	長崎市
D	8月20,21日 傍聴 あり	瀬戸内海ブロック資源評価会議（カタクチイワシ瀬戸内海系群、サワラ瀬戸内海系群など）	広島市
E	8月26,27日 傍聴 あり	東北ブロック資源評価会議（ズワイガニ太平洋北部系群、マダラ太平洋北部系群など）	八戸市
F	期日未定	日本海ブロック資源評価会議	新潟市
G	期日未定	北海道ブロック資源評価会議	釧路市
H	期日未定	スルメイカ資源評価会議	横浜市
I	期日未定	サバ類資源評価会議（マサバ太平洋系群、マサバ対馬暖流系群、ゴマサバ太平洋系群、ゴマサバ東シナ海系群）	横浜市
J	期日未定	ブリ資源評価会議	横浜市

※一部会議は一般傍聴を受け付けず、後日議事録を公表する予定です。

### 3. 申し込み

会議の出席は下記 URL で受け付けます。

URL : [http://www.fra.affrc.go.jp/shigen\\_hyoka/2019/index.html](http://www.fra.affrc.go.jp/shigen_hyoka/2019/index.html)

FAX でお申し込みの方は、氏名、フリガナ、所属、電話番号、メールアドレス、出席される会議名を下記宛てお送り下さい。

FAX 番号: 045-227-2704、資源評価会議の出席申し込み、担当（山下）あて